

かの人（彼の上に祝福と平安あれ）の遺産：並びない誠実さについて

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

وَالَّذِينَ هُمْ لِأَمَانَاتِهِمْ وَعَهْدِهِمْ رَاعُونَ

وَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ:

لَا إِيمَانَ لِمَنْ لَا أَمَانَةَ لَهُ، وَلَا دِينَ لِمَنْ لَا عَهْدَ لَهُ.

尊敬すべきムスリムの皆様！

本日の金曜礼拝のホトバでは、世界への慈悲として遣わされた愛すべき預言者（彼の上に祝福と平安あれ）の生涯の中から、誠実さの鑑を振り返ってみましょう。

親愛なる信仰者の皆様！

何よりもまず、預言者（彼の上に祝福と平安あれ）は主（スブハーナ ワ タアーラー）に自らを捧げていました。献身と崇拜、全能のアッラー（スブハーナ ワ タアーラー）への専心と服従に関して、彼は決して怠ることがありませんでした。

アッラー（スブハーナ ワ タアーラー）の使徒は、人々に対し誠実でした。人々が現世においても、来世においても幸福になれるようにと、生涯にわたって手助けをし続けました。この点について私たちの主（スブハーナ ワ タアーラー）は、愛すべき預言者（彼の上に祝福と平安あれ）に次のように語りかけておられます。「彼らが信仰者になろうとしないため、あなたは嘆きのあまり、自分で自分の身を滅ぼしてしまうだろう」。¹

親愛なる信仰者の皆様！

慈悲の預言者（彼の上に祝福と平安あれ）はまた、両親に対する誠実さも価値あることとしています。ある日、ある若者が「アッラーの使徒よ、泣いている両親を振り払ってでも私はあなたの許へ来ました」と言うと、私たちの預言者（彼の上に祝福と平安あれ）は次のように答えました。「彼らの許へ帰りなさい。泣かせたのと同じ分だけ、笑顔にさせてあげなさい」。²

親愛なるムスリムの皆様！

私たちの愛すべき預言者（彼の上に祝福と平安あれ）は自分の誓いを破ることなく、約束は必ず守りました。約束に誠実であることの大切さについて、彼はあるハディースの中でこう語っています。「信頼を裏切る者は、決して信仰をまっとうできない。自分の言ったことを守らない者は、完全な意味での篤信を得られない」。³

親愛なる信仰者の皆様！

誠実さは信仰に根ざしており、ムスリムとしての特筆すべき性質のひとつです。今この時、光栄にも愛すべき預言者（彼の上に祝福と平安あれ）のウンマの一員である私たちがなすべきこととは、彼がそうであったように誠実であることです。次のアーヤにある通り、「信頼に応じ、[羊飼いが羊を守るように]約束を守る者」⁴として生きることこそ、私たちに課された義務なのです。

¹ Shu'ara, 26/3.

² Abu Dawud, Jihad, 31.

³ Ibn Hanbal, III, 134.

⁴ Mu'minun, 23/8.